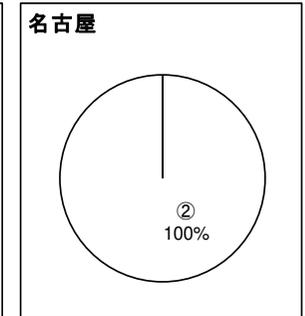
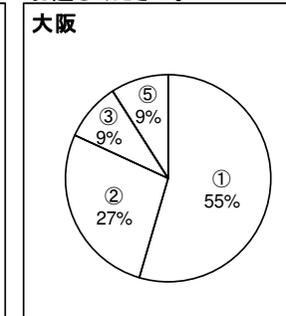
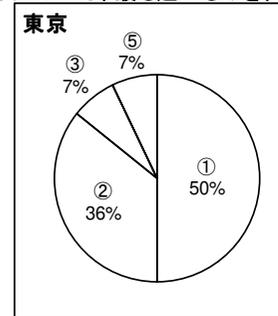


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

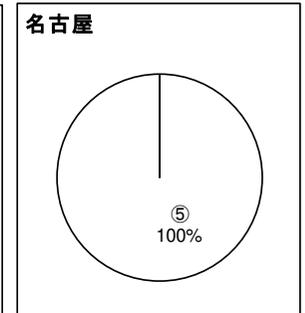
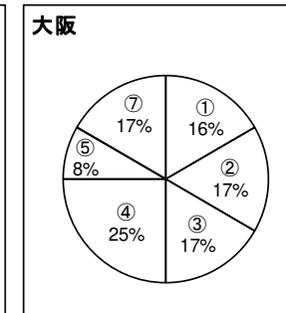
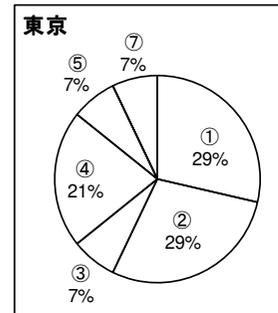
Q1. 金融は多様化し、株や債券など、伝統資産以外の手法を用いた金融の存在が大きくなっています。御社の取り組みについて、最も近いものを、一つお選びください。

( )%	東京	大阪	名古屋	合計
① 既存の枠組みにとらわれず、広く投資を行っていきたい、または既にそのように行っている。	7名	6名	0名	13
② 広く投資機会を活用したいが、組織の説得など様々な制約で困難である。	5名	3名	1名	9
③ 興味はあるものの、どのようにアプローチしてよいかわからない。	1名	1名	0名	2
④ 伝統資産のみで満足している。	0名	0名	0名	0
⑤ 無回答	1名	1名	0名	2
	14	11	1	26



Q2. 「リスクアペタイトフレームワーク」とは、リスクテイクの対象(意図的に取るリスク)と、リスクマネージの対象(管理すべきリスク)とを明確にする実践的な方法です。このようなリスクの考え方について、最も近いものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 以前からこのような考え方をしている。	4	2	0	6
② 活用していきたい。	4	2	0	6
③ 活用していきたい。既存のポートフォリオの見直しになりそうだ。	1	2	0	3
④ 活用していきたいが、具体的な取り組み方がわからない。	3	3	0	6
⑤ 労力を考えると導入は難しい。	1	1	1	3
⑥ (あまり)良い方法だとは思わない。	0	0	0	0
⑦ 無回答	1	2	0	3
合計	14	12	1	27

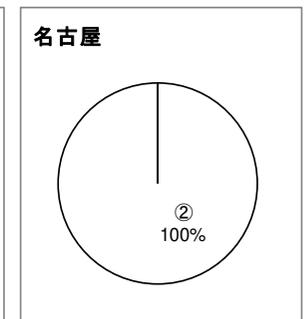
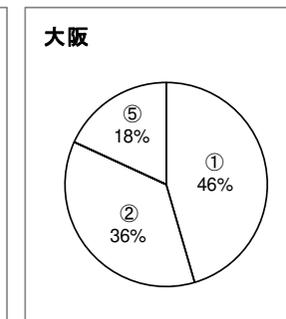
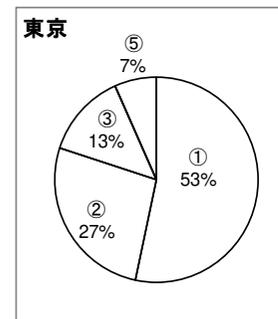


【複数回答】

大阪:③④・・・1名

Q3. 日本の産業の明るい未来にとって、確定給付企業年金は、どのような位置づけにすべきとお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 日本産業の国際競争力は、製品・サービスの質の高さに依存する。その質を維持するためには、雇用の質が重要となることから、安定雇用の柱として、改めて、確定給付企業年金は戦略的に重要なものとして再認知されるべき。	8	5	0	13
② 確かに、安定雇用は重要だが、確定給付企業年金は、企業の財務的不確実性を大きくしてしまうので、確定拠出年金等への移行を通じた相対的な縮小は不可避。	4	4	1	9
③ グローバル競争に勝ち抜くためには、確定給付企業年金は、日本企業の人事制度として不要である。	2	0	0	2
④ その他	0	0	0	0
⑤ 無回答	1	2	0	3
合計	15	11	1	27



【複数回答】

東京:①②・・・1名